



ライオンのおやつ

2020年本屋大賞第2位
小川糸の新たな代表作

人生の最後に食べたいおやつは何ですか——若くして余命を告げられた主人公の雫は、瀬戸内の島のホスピスで残りの日々を過ごすことを決める。そこでは、毎週日曜日、入居者がリクエストできる「おやつの日」があるが、雫はなかなか選べずにいた。食べて、生きて、この世から旅立つ。すべての人にいつか訪れることをあたたかく描き出す物語。2020年本屋大賞第2位。

表紙●くのみり

288頁
予価：本体720円(税別)
ISBN978-4-591-17506-4
8101-455



小川糸

『食堂かたつむり』でデビュー。多くの作品が海外で翻訳され、映像化もされている。他に『喋々喋々』『ツバキ文具店』など。

小川糸の本



『食堂かたつむり』



『喋々喋々』



『ファミリーツリー』



『リボン』



百華後宮鬼譚

後宮解体！ 皇帝暗殺！ 犯人は陽湖さま!? (仮)

Webコミックも大人気！

陽湖が皇帝暗殺犯に仕立てあげられて!?

生まれつき鬼霊を視る才を持つ甜花は、百華国の後宮で妖艶な第九夫人・陽湖妃の付き人をしながら、いつか図書館で働くことを夢見ている。図書館に出る鬼霊の謎を解いたり、みなで行った舟遊びで龍神の巫女だという侍女・翠映が死体となって見つかったり、ついには甜花が誘拐され、陽湖が皇帝を暗殺するという大事件が起きて——。謎解きあやかし中華風後宮ファンタジー！

表紙●くのみり

304頁
予価：本体740円(税別)
ISBN978-4-591-17507-1
8111-341



霜月りつ

富山県生まれ。『神様の子守はじめました。』シリーズ(コスミック出版)など人気シリーズを多数手掛ける。

好評既刊



『百華後宮鬼譚』
自立たず難がす愛されず、下働き娘は後宮の図書館を目指す！



『百華後宮鬼譚』
強く妖しく謎めく妃、まさかの後宮大炎上！

ComicWalkerにて
コミカライズ
大好評連載中！



漫画：冬空

こちらから
読めます！





未来への挑戦!

生きるとは 共に未来を語る事 共に希望を語る事

ポプラ新書

230

消費税減税 ニッポン復活論

藤井 聡 (経済学者) ・ 森井じゅん (公認会計士) 著

**給料が上がらない、
正社員になれない、
物価が上がり続ける、
すべて、消費税が原因である!**

元内閣官房参与の気鋭の経済学者とシングルマザーの公認会計士が、国家財政の視点と一般消費者の視点から消費税の問題点をあぶりだし、消費税のマイナス効果を国家財政の論点と家計の論点から経済のプロと税務のプロのタッグでわかりやすく解説!

256頁(予定) 予価: 本体 950円(税別)
ISBN978-4-591-17509-5 8201-230

藤井 聡 ふじい・さとし

京都大学大学院教授。元内閣官房参与(防災・減災ニューディール)。京都大学工学部卒、同大学院工学研究科修士課程修了後、スウェーデン・イエテボリ大学心理学科客員研究員、東京工業大学教授を経て、現職。専門は公共政策論、都市社会学。

消費税減税 ニッポン復活論

藤井 聡 著
森井じゅん 著

この本を読んだら、
**給与明細やレシートを
見る目が変わる!**

「消費税「見直しこそ、
日本の未来をバラ色
にする最終手段!」
元内閣官房参与で気鋭の経済学者と
シングルマザーの公認会計士が、
一般消費者の視点から
消費税の問題点
を説く。

この本を読むと
給与明細や
レシートを見る目
が変わる

- ✓ 給料が上がらない
- ✓ 正社員になれない
- ✓ 生活が苦しくなる
- ✓ 税金が足りなくて
借入が増える
- ✓ 中小企業が
倒産する
- ✓ すべて、
消費税が原因である

※カバーは変更の可能性があります。

森井じゅん もりい・じゅん

高校を中退後、大検を取得。ネバダ州立リノ大学に留学。留学中はカジノの経理部で日常経理を担当。一女を出産し帰国後、シングルマザーとして子育てをしながら公認会計士資格を取得。平成26年に森井会計事務所を開設し、税務申告業務及びコンサル業務を行っている。ホリプロに所属し、さまざまなメディアで活動中。

好評既刊

母親という十字架に苦しんでいる人へ!

母という病

あなたを苦しめる人たちは
母親に
あなただけの人生を
見えない力で支配する。
まるで呪いのように。

岡田 尊司 著

恋愛、子育て、うつや依存症など、
あなたの「生きづらさ」の根源には、
母親との関係が影響しているかもしれない。
現役精神科医による、感動的かつ衝撃的な提言。

017 母という病
岡田 尊司 著
定価: 本体 890円(税抜)
ISBN978-4-591-13777-2

ポプラ新書
ベストセラー
新カバーで登場

ポプラ新書 売れ行きベスト!

- 9月1日 母からのバトン
樹木希林・内田也哉子 著
「死なないで…。今日は、大勢の子どもが自殺してしまう日なの。」一病室でつぶやいた樹木希林。生きづらさを抱える子供たちへのメッセージ
- フィンランド人はなぜ午後4時に
仕事が終わるのか
堀内都喜子 著
有休消化100%、1人あたりのGDP日本の1.25倍、在宅勤務3割。幸せの国フィンランドは、仕事も休みも大切にしている。
- 中学受験に合格する子の学んだら忘れない
勉強ルーティーン
橋本憲一 著
子どものために親ができる受験サポートとは? 灘中学合格者数18年連続日本一の名門塾が明かす学習法と「受かる」生活習慣。
- 徳川15代将軍 解体新書
河合敦 著
260年続いた江戸時代、15人の将軍は、それぞれ何を考え、どのような人物だったのか…。将軍たちの出生から最期まで、政策、家臣、外交なども交えて細かく解説。
- 「学校に行きたくない」と子どもが言ったとき
親ができること
石井志昂 著
自身も不登校経験者である不登校新聞編集長が、20年の取材を経ていま伝えたい、子どもとの向き合い方。